

「2008年フロンティアセミナー」参加報告

山本 聡¹

7月22-25日に北海道ニセコいこいの村にて「2008年フロンティアセミナー」が行われました。今年で3回目になりますが、今回はJAMSTECの浜野洋三氏を招待して「地球中心核探査計画 "地球中心部で何が起きているか"」というテーマで、地球内部と地球を取り巻く環境について、丸二日間集中講義形式で講演をしてもらいました(図1, 図2)。講演内容の章立ては以下のようなものでした。

+++++

0 概要

- 1 コアの立場と環境
- 2 装置観測による地球磁場、惑星磁場
- 3 古地球磁場変動
- 4 不均質導体中の電磁場と地球内部電気伝導度
- 5 表面磁場とコア表面の磁場
- 6 コア内での乱流とダイナモ作用
- 7 地球中心核をどうやって覗くか

+++++

講演内容の詳細については、浜野さん本人による講演テキストが近いうちに遊星人に寄稿されるということなので、ここではフロンティアセミナーの雰囲気について簡単に紹介したいと思います。

本セミナー開催中、あいにく北海道は厚い雲に覆われ天気が悪い状態でした。しかし、そんなどんよりとした天気とは逆に、会場の中は最初からかなり白熱した雰囲気になっていました。0章の概要説明の段階で、概要を述べられるだけでは納得がいけない一部の熱い方々(主に年上組)の先取り質問が激しく飛び交い、午前中いっぱいを使って概要説明が終わるという事態になりました。その日の午後にもコアの概要説明の段階で議論がヒートアップしたため、結局半日掛けてどうに

か1章が終わるという事態になりました。残り一日で2-7章をどうやって終えるのか少々不安なまま、夜の懇親会に突入しましたが、この熱い雰囲気こそがフロンティアセミナーの醍醐味だと思います。

二日目は初日の概要的な話とは違って、観測手法や最新の数値計算の紹介など詳細説明を必要とする内容だったのもあって、比較的落ち着いた感じで講演が進んでいきました。といっても所々、講演者vs聴衆者のみならず聴衆者間で激しい議論が展開されるなど、例年に比べてもかなりヒートアップした感があり、講義を聴くと言うよりは議論に参加する楽しみを味わえた気がします。また休み時間を利用して液体金属を使ったダイナモ模擬実験も行われ、参加者自ら指を入れてコアの流れを体感するといった、ちょっと変わった試みも行われました(図3)。激しい議論をいったん休止し、気分転換で建物の外に出てニセコの雄大な景色を見ていると、この大地の遙か下でいったい何が起きているのかについて論じているスケールの大きさ(?)になんか感慨深いものを感じました。ともすれば普段忘れがちになる研究本来の楽しさを、この丸二日間に取り戻せた気がします(図4)。

やはりこのフロンティアセミナーの一番の楽しさは、普段自分が直接関わっていないテーマであっても、なにか「わかった気になって」議論に参加できる所にあると思います。研究を行う楽しさの一つに「わかった気になる」ことがあると思いますが、自分が普段行っているテーマ以外となると、なかなかこの「わかった気になる」ことが出来ず、もどかしさを感じる場合があります。というのも、学会発表や通常のセミナーを聞くだけでは、専門外のテーマについて踏み込んだ理解を得るには限界があるからです。またせっかく興味をもって教科書やレビュー論文を読んでも、参考文献も含めた詳細を知らないと、個々に書かれている情報

1. 東京大学 大学院新領域創成科学研究科



図1：講演中の様子



図2：講演者の浜野洋三氏

が全体とどう繋がるのかがよくわからない為、どうもすっきりと「わかった気」になれないことが多いです。もちろん、そこについて一歩踏み込んで調べていく過程こそが面白いのですが、自分の専門以外のテーマとなるとなかなか実現が難しいのが現状です。一方、このフロンティアセミナーには、専門外の人が聞きたい事を好き勝手に質問して議論に参加できる雰囲気があ

り、また講師の方々もそのような好き勝手の質問に、優しくうまく答えてくれる能力の高い方々が選出されています。そのような場で、最初は手探りでもいいから質問をぶつけ他人の議論に絡んでいくと、いつの間にか深い議論に引き込まれ「わかった感覚」が味わえるのです。ここで重要なのは本当にわかったかどうかよりも、「わかった気になる」ことの楽しさを経験



図3：ダイナモ模擬実験の様子



図4：参加者の集合写真

することだと思います。それがあればこそ、他分野の研究テーマに対して興味をもち、広い視点で惑星科学を俯瞰する重要性を知ることができるのだと思います。その意味でこのフロンティアセミナーは、私の研究生生活にとって重要かつ大きな楽しみの一つです。まだ参加されたことのない方々も、ご自身の研究テーマとの関連に関わらず、一度経験されてみてはいかがでしょうか。

うか？

最後に、こんな楽しいフロンティアセミナーですが、実行にあたって大変な働きをされている方々のおかげであるということはいまでもありません。幹事のはしもとじょーじさんを始め、尽力をつくされた方々に感謝いたします。

(写真提供：惑星科学フロンティアセミナー撮影スタッフ)